

「寛骨臼移動術（SPO）の術後6ヶ月の下肢機能の回復経過後ろ向きコホート研究」について

加古川中央市民病院リハビリ室では、低侵襲寛骨臼回転骨切術を施術された患者さんを対象に下記の研究を実施しております。内容については下記の通りになっております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

低侵襲寛骨臼回転骨切術を実施している施設は限られており、本邦におけるSPO術後の下肢筋力回復経過を追跡調査した研究は少なく、その回復実態が明確になっていません。今回、SPO術後の下肢筋力の回復経過を把握することで、術後の理学療法プログラム立案の参考になると考えます。

【研究期間】

研究実施期間：病院長承認日～2020年10月24日

研究対象期間：2017年3月1日～2020年4月30日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2017年3月1日～2020年4月30日の期間に低侵襲寛骨臼回転骨切術を施術した患者さんの下記の情報を診療録より情報収集させていただきます。

- ・年齢、性別、身長、体重
- ・股関節外転筋力、膝関節伸展筋力

【個人情報保護の方法】

すべての患者さんの情報は匿名化され、第三者にはその情報が誰のものかわからないようにして研究がすすめられます。研究成果の報告においても個人が識別されないように行います。この研究に参加していただいた患者さんの個人情報につきましては本研究に関わる全ての者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管いたします。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

本研究は既存情報を用いた観察研究であり、研究対象者に直接の利益、不利益は生じません。

利益：通常診療の情報を用いており、患者個人には特に利益になるようなことはありません。しかし、本研究への参加を通じて、医学の発展や社会全体の医療水準の向上に貢献することになります。

不利益：カルテからのデータのみ利用するため不利益はありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

この研究で取得した患者情報は、論文等の発表から5年間は保管され、その後は患者を識別する情報を復元不可能な状態にして破棄する。また、患者が本研究に関する使用

の取りやめを申し出た際、申し出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄します。

【研究成果の公表について】

本研究の成果は参加される患者さんの個人情報明らかにならないように匿名化が厳守された上で学会発表や学術雑誌などで公表する場合があります。

【研究へのデータ使用の取りやめについて】

研究への参加をお断りになることはいつでも可能です。お断りになられても、その後の診療において不利益を受けることはありません。しかし、研究への参加をお断りになった時に、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合には、結果を廃棄できない場合があることをご了承ください。

【研究期間の研究に係る利益相反及び個人の利益等、研究者等の研究に係る利益相反に関する状況】

研究責任者及び分担研究者に開示すべき利益相反はありません。

【問い合わせ窓口】

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 リハビリ室

研究責任者名：笥 達也

連絡先：079-451-5500